

# ハスの葉の上の木滴モデル

～ 企業誕生・成長・終エニ～

市場のめばえ・成長・急変化・終エニ～

○ 水滴… 企業

… 霧 … 人及び金

① ハス … 市場 小→大→中(小→枯)

② ハスの茎 … 市場の熟成度・高度±

③ 風 … 市場を小さく大きく変化するもの  
大い水滴は急変についてカゲザ  
分裂するが、全部もしくは部分がい  
うりよとされる、水滴どうしはよく結合を  
おきる、

・ 市場が充分でないのに、大きな水滴になる

・ まうと、重みにたまたまず、ハスが傾く、

・ 小さい水滴は表面にくっついていられるが、大きいもの  
はじ、おちてしまう、

・ いざ大葉は小さくなる、水滴も小さくなる、

・ すぐ近く、高低差のはばへさるゝとある、小さいほど

おちたしうぐきは、小さい、— 新市場へのやめをえる  
展開に近しい、

・ 水滴の核は、活発な霧粒子。  
いらいをまきこびやく性質をもつ。

・ いわゆる企業の苦状は、ハスのハの縮小、  
金も縮小⇒リミット量<放出量、

まわりにも水があっても、そのハスのハの上では、

それ以上大きくはなれない→ あたふいハスの上に転出するか、  
放散し、若い水滴に水粒子も与えることに

もしくは、ハの端がしきり、水をしたたかせ、

ちょうどスの下にハスがあればそこへ水滴に吸収される、

そういう状況が近くなると、若いハ、若い水滴は、  
急ペースで成長できる。

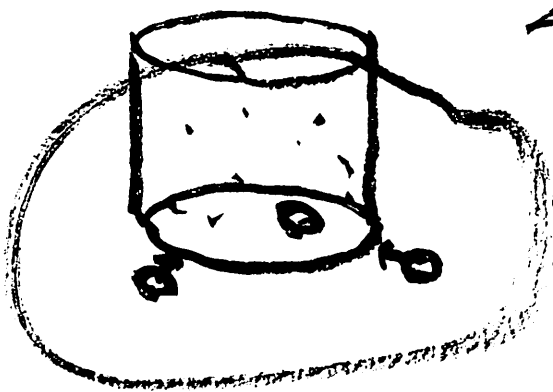
・ つうじう うまえた、若い小さいハには、<sup>大</sup>きな  
水滴はのびない。こい霧の中から、活発な水粒子が、  
まわりをまきこみ、ハの上に、こいハの水滴をつくる、

・ ただし、中には、ある程度の大きさなのに、ほとんど水滴の  
のびないハもある、うまく、大きな水滴がのびれば  
新事業展開となる。それまで、固く大きくゆいいて

いた、まがし、がした頃が、いちばん、チャンス(たぐいした  
いちゃん)

・ いまより大きな事業ができるベンチャーは、自然発生ではなく、  
何らかの上方からの水分供給をうけている。

- セツジは、ハの上に、ちいさなまを つくもの  
じかんがたつと、木あてゆく。
- 充分に霧がないと水滴は、葉に、くっつき、なくなる。
- 適切な技術シーズは、そこに新しいハのハをメバエさせるもの
- あるいはキゾシのハっぱ、ある部分を、ぐーんと成長  
させるもの、である
- 適いかな技術は、ハをほまな、もしくは、ハを  
ハっぱ出させるにすぎないもの。
- てまめた水滴は、ハの成長を促進する。  
水滴のハは、成長が早い。
- 近年は、キゾシ量が少なくな... 行政が育成の為に霧を  
いづま、そして、世界レベルの葉の上で吸収合戦が  
できるようになる
- 大きな木道ほど、表面積が、大きく、水分とかいてくれる
- 古いハほど、よい水滴が、できる
- 特許は、囲いである。



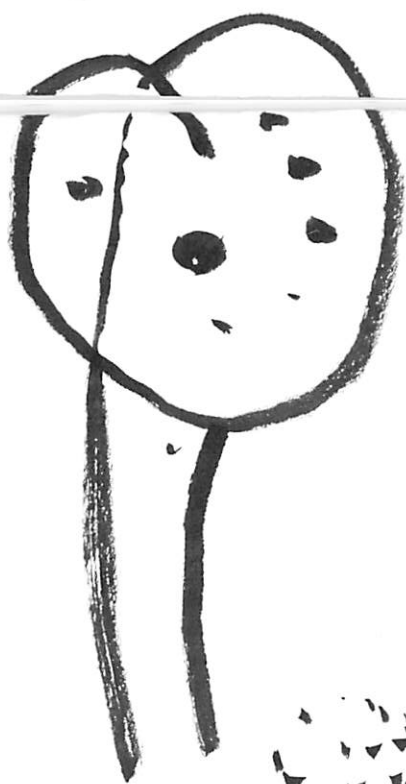
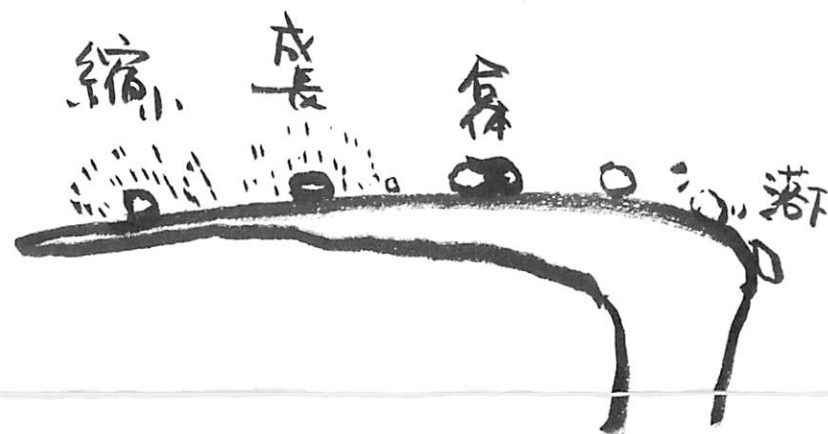
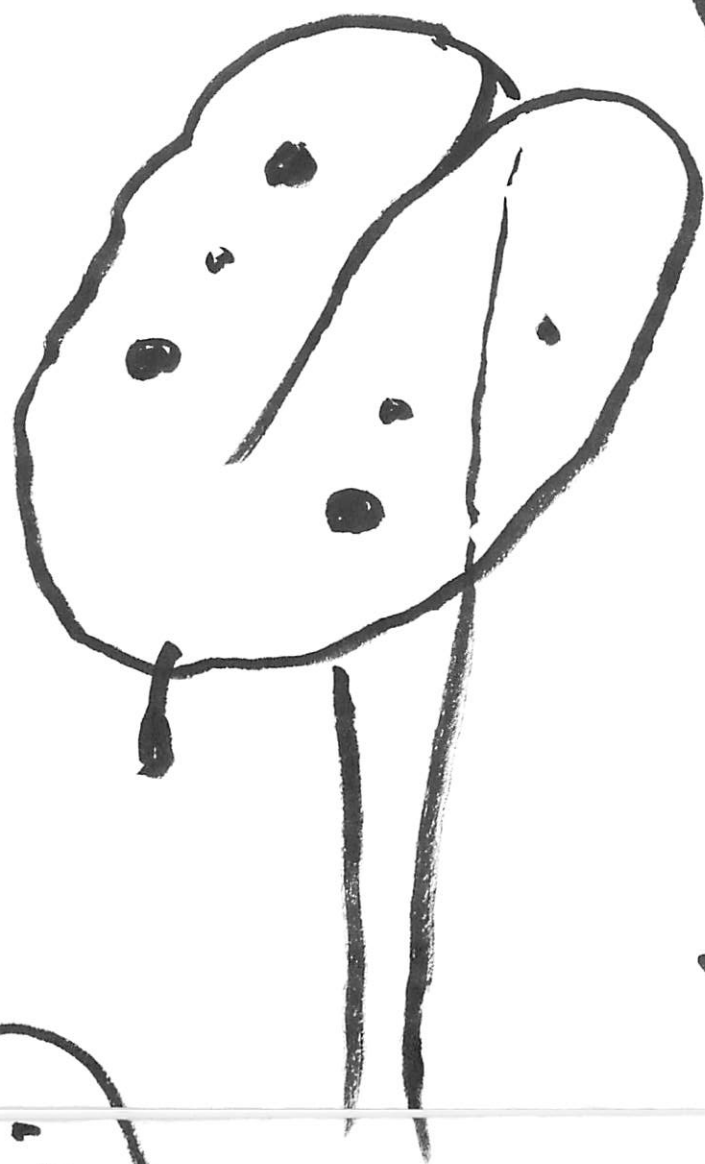
その半径の水滴を独占できるか  
そこに葉がなければ、水滴は  
大きくなれない。特許なければ  
高収益にならない。特許は「けこ」  
タメの「けこ」である。



風



葉が  
大きく  
なる  
全落  
or  
一部落



霧の中



湖